



公認会計士法友会会報

公認会計士法友会

第26号

令和元年7月1日

平成30年度公認会計士試験合格祝賀会を開催(P.10)



平成30年度定期総会、会員研修会及び懇親会のお知らせ

(日時) 令和元年7月9日(火)

17:00 受付開始

17:30 定期総会(外濠校舎4階 S404)

17:50 会員研修会(外濠校舎4階 S404)

演題:『働き方改革関連法の施行について～会社の
労務コンプライアンスの観点から～』

講師: 弁護士 早田賢史氏(1994年法学部卒業
法政大学法曹会会員 駿河台通り法律事務所)

19:00 懇親会(ボアソナード・タワー25階スタッフクラブ)

20:30 解散・2次会(場所未定)

(会費)公認会計士 10,000円

試験合格者及び会計士補 5,000円

※該金額のうち5,000円は平成31年度会費に充
たします。

出欠席のご連絡は、送付しております往復ハガキもしくは
メールにてお願いいたします。

目次

会長挨拶	2	会費納入等の御礼	9
平成30年度公認会計士試験合格者の近況	4	平成30年度公認会計士試験合格祝賀会の報告	10
雑感	6	各種参加報告	11
ゴルフ大会	7	年度会費及び寄付金のご協力をお願い	12
「法政士業の会」便り	8	編集後記	12

同封物:会報、郵便口座振替用紙

会長挨拶

会長 太田 莊一(昭和52年卒)



公認会計士法友会の会員の皆様、各方面でのご活躍、お喜び申し上げます。

会員の皆様には、いつも多大なるご支援とご賛同をいただき、誠にありがとうございます。毎年決まったように貴重な浄財をご寄附いただいている会員、また、総会、祝賀会等の行事には必ずご出席いただいている会員諸氏には、誠に感謝に堪えません。本当にありがとうございます。

おかげ様をもちまして、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを更に高めることができているのも、会員の皆様方のご尽力とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして深く感謝申し上げます。

法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめとする役員の方々の精力的なご対応とご協力を受けながら、なんとか務めさせていただいております。今後とも引き続き、会員の皆様方のご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

特に、今年度は、当会役員の改選期(2年毎)にあたりますが、若手会員の皆さんには是非とも積極的に会務に参画していただきたく、役員への登用を推進していく方針でありますので、ご賛同のほどよろしくお願いいたします。

今回は、最近の法友会活動についてのご報告を中心に、今後の方針を述べさせていただきたいと思っております。

【平成30年度公認会計士試験合格祝賀会について】

平成31年1月26日(土)に、法政大学における『後進の育成』のための活動として最大のイベントである公認会計士試験合格祝賀会を開催いたしました。法政大学の田中優子総長、佐々木郁夫校友会会長、日本公認会計士協会からは武内清信副会長にご臨席いただき、合格者に対してのお祝いと今後の会計士としての心構えや業界の将来を踏まえた激励の言葉をいただきました。(祝賀会の詳細報告については、後掲の記事ご参照。また、法政大学HPの法政フォトジャーナルの2月掲載分や校友会HPを是非ご覧ください。)

合格者の皆さんにはこの感激を忘れずに、また当日ご都合で出席出来なかった合格者には、校友会からのお祝い品が郵送されていると思います。お世話になった先生方、先輩の方々、そして御父母への感謝の気持ちを忘れずに、実社会で活躍されることを期待しています。そして来年の合格祝賀会には是非、先輩会員として出席してください。

ご来賓の皆様方、そして会員の皆様にはお忙しい中を

出席いただきまして本当にありがとうございました。来年度も是非よろしくお願い致します。

【法政大学校友会及び「法政士業の会」における活動について】

一般社団法人法政大学校友会においては、佐々木新会長体制のもとCCS活動が本格的に始まっております。「法政士業の会」としては、当会の和食克雄顧問(校友会理事「士業の会ブロック長」「法政士業の会」副会長)を中心に、これに応えるべく、積極的に活動しております。

最近では、一般卒業生に対する士業によるワンストップ相談会の開催や、付属校の内部進学者ガイダンスでの士業の紹介や若手会員中心の懇親会の開催等、より一層の活動を拡充しており、公認会計士法友会としても積極的にこれらに参画しておりますので、会員の皆様には、これらの活動に是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。(詳細については、後掲の記事ご参照。)

なお、毎回お願いしております終身会員登録(現在83名)の拡充につきましては、なかなか進捗しておりませんが、今年度から、「年度同期会員」(2014年3月以降の卒業生)の5年経過後の各パートナー組織団体への所属変更が始まり、今年は、該当する7名の会員が当会の終身登録会員に所属変更になることが見込まれています。各位にはご協力のほどよろしくお願いいたします。

これから毎年、若手会員が増加していきます。これをステップにして、今年度中には、100名を超える規模の終身会員登録を目指しておりますので、会員各位にはおかれましては、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【卒業生に対する寄付金の拡大と「寄付講座」の今後について】

さて、ご承知のとおり、法政大学は、今年も志願者数が11万人を超え、実質受験者数では、全国第1位となっております。しかしながら、この多数の学生を支援するために受け入れられる寄付金の総額や割合は、国立大学や一部の著名私立大学に比べるとまだまだ少ない状況であります。大学としても、特に卒業生、OB会を中心とした企業や団体からの寄付の受入れをより一層拡充すべく、全学的に展開する募金(寄付金)事業専門の部局を設置し、校友会等を通じて各OB会や卒業生個人に対して寄付金の拡大支援のお願いをしているところであります。

この全学的な募金事業体制の取組においては、金銭による寄付金のみならず、大学に対する一般企業・金融機関やOB団体からの「寄付講座」を積極的に受入れるべく、全学的な受入れ体制を整えているところであります。

公認会計士法友会としては、昨年度までの通算5回(4年間にわたり)開講してきました経営学部公開講座の寄附講座「実践会社実務論」で蓄積したノウハウと実績に基づいて、今後、これらに積極的に提案し、かつ大学側からの二

ズに答えることで、会員各位の貴重な知識と経験を、現役学生に伝えることにより、後進の育成に貢献したいと考えておりますので、会員の皆様のご支援ご協力のほど、是非ともよろしくお願いいたします。

【法友会の会員寄付の拡充と「奨学支援金」について】

私共、法友会としても、今後、特に注力していきたい活動といたしましては、会員の皆様からのご寄付浄財をいかにして拡充していくかという課題に対する対応です。法友会活動は会員の皆様からの会費・寄付金の浄財により成り立っています。昨今、会員の高齢化とご寄付賛助者数の減少により、当会の財政収入にも少なからず影響が出ております。

一方、活動の範囲は拡大しており、特に、2年前より創設いたしました大学高度会計人育成センター主催の簿記チャンピオン大会成績優秀者に対する公認会計士試験受験のための「奨学支援金制度」については、嬉しいことに、その成果が目に見えて来ております(下記参照)。

法友会としては、これを継続し、さらに充実したものにしていきたいと考えております。このための原資として会員の皆様方からのご寄付浄財が不可欠でありますので、なにとぞご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【法友会「奨学支援金」の支給状況と成果(実績)】

年度	資格付与者	受給人数	短答式合格者	最終合格者
2016年度	6名	2名	2名	2名 ※1
2017年度	6名	5名	4名	※2
2018年度	7名	5名	※3	

※ 奨学支援金とは、毎年度の成績上位(表彰)者(1年生)に受給資格証を付与し、短答式受験を条件に、用途を専門学校の受講費充当に限定して、50,000円を支給するもの。

※1 2016年度に受給した2名は、2018年の最終論文式合格。

※2 2017年度に受給した5名のうち4名が短答式合格(1名が5月受験予定)で2019年論文式受験予定。

※3 2018年度受給者は現在のところ5名で、5月の短答式受験予定

上記の通り、受給した学生の合格率は非常に高い結果が出ています。

今後も公認会計士を目指す学生の経済的支援のための活動を拡充していくことを検討していきたいと思っておりますので、会員の皆様には、是非ともご理解とご協力のほどお願いいたします。

【最後に】

昨今、経済界は人手不足で学生の売手市場も過去最高の状況が続いており、そのせいもあってか、公認会計士試験を受験する学生数にも影響しています。

今年も全国で1,200名を超える試験合格者が輩出され、当法友会にも多くの新しい仲間が増えました。法政出身の合格者は、前年度より5名増加の21名の合格者となりましたが、残念ながら、全国合格者数に占める割合は1.6%と、本学が目標としている3%には届かず、大学別ランキングでも低位(非公式ですが、17位)にとどまっています。これは、本学の会計大学院が3年前に閉校となったことも影響していますが、本学から受験合格を目指す学生がなかなか増えないことが一番の要因かと思われます。

これまでトップ10の位置を維持してきた諸先輩方のご功績に答えるためにも、また、今後も法政の学生からより多くの公認会計士を輩出するためにも、さらに、将来のある若い皆さんが生き生きとして集い結べる業界・魅力ある土業となるよう、法友会としてもまだまだやるべきことはたくさんあります。

毎年、大学監事として3月と4月に日本武道館で行われる学位授与式と入学式へ参列させていただいておりますが、新入生とその保護者約4千人を前にして、新入生全員の目の輝きに見つめられ、そのたびに、若い世代に対する我々の責任の重さをしみじみと認識させられております。

今年も、卒業式と入学式(午前と午後の二部制)とで計4回、日本武道館での校歌斉唱とエールをしました。

「フー！！フー！！法政、ガンバレ！！ガンバレ！！卒業生と新入生」



平成30年度公認会計士試験合格者の近況

合格者の近況を自ら報告していただくコーナーです。

●山本脩平(平成31年卒)

・はじめに

法友会の皆様、いつもお世話になっております。山本脩平と申します。私は人間環境学部人間環境学科に在学中に公認会計士試験合格を目指し、4年在学中の平成30年度論文式試験に合格することが出来ました。現在はあずさ監査法人に勤めております。

・公認会計士を目指した理由

私は中学から付属校に所属し、高校受験も大学受験も経験してこなかったため、大学では何か一生懸命になれる目標を見つけようと考えていました。そこで私は高校時代から興味があった簿記の勉強を大学に入学してから本格的に始めました。簿記を勉強し始めた当初は、在学中に1級までの取得を目指していましたが、2級を取得したタイミングで公認会計士の方からお話を聞く機会があり、公認会計士になることで将来の選択肢が広がることに魅力を感じ、在学中に公認会計士試験に合格することを目標として勉強するようになりました。

・受験時代

私は内部進学者ということもあり、長時間勉強することに慣れておらず、最初は勉強に慣れるところからのスタートでした。私が受験時代中、恵まれていたと感じるのは良い仲間が多かったことです。まずは一緒に合格を目指した受験仲間です。公認会計士試験の勉強は長期間に渡るため、一人で勉強しては最後まで頑張ることはできなかったと思います。受験仲間とはお互いに質問しあったり、答練の成績で競い合ったりなど切磋琢磨し、お互いにとって良い関係を築くことができました。次に大学の同じ学部の仲間です。私が所属していたのが人間環境学部ということもあり、同じ学部に受験仲間はいませんでした。そんな中でも公認会計士試験に理解のある仲間が大学の授業をサポートしてくれたおかげで、大学も無事に卒業することができました。私は論文式試験に一度落ち、全てが順調にいった受験時代ではありませんでしたが、そんな苦難も乗り越えて最後に合格することができたのは、良い仲間や先輩に出会えたからだと思います。

・監査法人での業務

私は3月に大学を卒業し、4月から常勤として監査法人に勤めています。現場に出ている繁忙期で、この2ヶ月はとても大変ではありましたが、分からないことはチームの先輩方が丁寧に教えてくださり、なんとか乗り切ることが出来ました。クライアントの方ともコミュニケーションをとる機会が多くあり、社会人としても多く学ぶことがあった繁忙期でし

た。クライアントの方々みなさんとても親切で、ちょっとした質問に対しても丁寧に対応していただきました。また、クライアントの方々と積極的にコミュニケーションをとることで、より有益な情報を教えてくださる事もありました。しかし、質問の仕方が悪かったり、自分の理解不足によってクライアント先に質問内容が伝わりづらいこともあり、反省すべき点も多かったです。現場に出たことで、クライアントの方々とコミュニケーションの大切さだけでなく、自分の考えを伝える難しさというのも実感しています。私は会計士人生の第一歩を踏み出したばかりであり、まだまだ学ばなくてはならない事が沢山ありますが、今はそれらを学ぶことを楽しく感じています。6月に入り少し仕事も落ち着いてきたため、今まで苦手としてきた英語についても勉強していこうと考えています。仕事をしていく上で必ず英語が必要となる時はあり、また英語ができた方が自分の世界が広がり、より仕事を楽しむことができるかと最近では感じています。

・プライベートの過ごし方

今年に入ってから受験仲間と卒業旅行としてスペインに行き参りました。トレドの街並みやマドリードの王宮などからは日本の神社仏閣とはまた違った良さというものを感ずることができました。夏には事業部の同期と旅行に行く計画も立てています。

・最後に

法友会の皆様、先日は平成30年度公認会計士試験合格祝賀会にお招きいただき、誠にありがとうございました。まだまだ未熟者ではございますが、今後共ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



●青木春香(平成31年卒)

法友会の皆様、いつもお世話になっております。青木春香と申します。平成30年度公認会計士試験に合格し、31年に経営学部経営学科を卒業しました。現在はEY新日本有限責任監査法人で主にアパレル業界の監査業務に従事しております。

・公認会計士を目指したきっかけ

私は幼い頃から銀行や経理に憧れがあり、大学も経営学部を志望し入学しました。そして入学してすぐHAPPの説明会に参加し初めて公認会計士という職業を知りました。ですが、大学受験を終えたばかりの私にはまだ勉強を始める気持ちも無くその時は遊んだりバイトしたりの生活を送っていました。

2年生になり、就職に役立ちそうな資格を取ろうとHAPPに入り簿記の勉強を始めると、難しさの中に面白さを感じ、簿記資格の最高峰である会計士に憧れを抱くようになりました。難易度の高い資格ということもあり本当に出来るのだろうかと悩むときもありましたが、挑戦する機会は今しかないと思い会計士講座を申し込みました。

・受験生活

私は大学のHAPP専用の自習室で受験生時代のほとんどを過ごしました。勉強しても成績が伸びないときがあり、非常に悔しい思いをしたこともありました。そんな時に相談したり、模試や試験後に飲みに行ったりと自習室の仲間は心の大きな支えとなりました。

勉強をするにあたって、支えてくれた家族や先生、友人のおかげでここまでくることができ、大変感謝しております。

・監査法人での業務

入社して4ヶ月が経ち、決算を3社経験させていただきました。チームの皆さんはとても親切で日々恵まれた環境で仕事をさせていただいています。まだまだ分からないことが多いですが、努力を重ね成長していきたいと思っています。

・プライベートの過ごし方

先日は仙台へ旅行に行ってきました。天気にも恵まれ、お酒を片手に野球観戦し、良い気分転換になりました。繁忙期も落ち着き、夏にもお休みをいただく予定なので、次は甲子園まで高校野球を見に行きたいと考えています。仕事には忙しさの波がありますが、休みも長く取れるのでメリハリがあつて良いなと感じています。



・最後に

先日は平成30年度公認会計士合格祝賀会にお招きいただき、誠にありがとうございました。「平成最後の」合格者となりましたが、新しい時代の令和においても日々精進してまいりますので、これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



雑感

藤田利弘(昭和51年卒)

～田舎の会計士たより～



法友会の皆さんこんにちは。私は大学～法人勤務と18年間過ごした東京を離れ、現在は故郷の富山県で暮らしています。富山県といってもピンとこない方も多いと思いますが、自然豊かな長閑な県で、目立った産業としては富山の売薬で知られた医薬品の生産が全国一くらいでしょうか。認知度は低いのですが私の住む高岡市(富山県の西部に位置し人口は17万人)は梵鐘や銅像などの生産で日本における銅器生産額の約95%を占めています。高岡開祖の加賀藩主前田利長が地場産業の振興を図るために7人の鑄造師を呼び寄せたことに始まるとされています。

このような富山ですが自然に恵まれ、北アルプス立山連峰に降り積もった雪の豊富な雪解け水が名水となって美味しい米や酒を育み、また「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟している富山湾の氷見の寒ブリに代表される美味しい魚も豊富です。そしてとにかくのんびりしてストレスが少ないのか全国幸福度ランキングには常に上位にランクされ、過去に法大大学院政策研究チームの公表ランキングでは全国2位の評価も受けています。

私は昭和62年に東京の大手監査法人を退職して富山に戻りましたが、地元商店街は夜7時にはシャッター商店街となり馴染んだ東京の賑やかさとの落差に不安と寂しさを感じました。今ではこの環境に慣れて、たまに上京すると人混みに酔ってしまいます。当時富山県の会計士は約40名で高岡市には16名が登録されていました。最初に驚いたのはやはり田舎なのか会計士のステータスが非常に高く、若輩者がいきなり先生と呼ばれて戸惑ったことを覚えています。地元では同じ監査法人を退職した4名と地元のボス会計士の5名で16社の監査を行っていましたが、会計士は万能人種とされていたのか会社からは会計だけではなく法務、労務、しまいには人事の相談まで受けました。田舎のお医者さんがいろんな診療科をこなすのはこんな感じなのでしょうか。

2年後にはこの5名で元の大手監査法人に加入し富山事務所として活動、その後地元人員で公開業務もこなせる法人として順調に人員と業務拡大を図ることができました。

平成24年に監査法人を退職し、現在は少しの税務顧問と監査法人時代のクライアントの会計アドバイザーを行っています。年々業務密度が濃くなった監査法人を退職した時には時間の使い方に困りました。なんと贅沢な年間200日の休日！

退職の挨拶状では格好良く今までの経験を生かして地元への貢献をと書きましたが、最初に思ったのは息子達も手を離れ、忙しい業務から解放されての自由業の満喫でした。

昔読んだ本に「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう。時には二十歳の青年より六十歳の人に青春がある。」これは理想と情熱を失うときに人は老いと続くのですが、この上辺だけを頂いて今まで頑張ったことを言い訳に60才からの青春を楽しもうと。というより本音は今まで頑張ったことを理由に遊びたかっただけですかね。

そこで監査法人時代にはできなかった50年以上も愛し続けた阪神タイガースの追っかけ応援で盛り上がり、各地のお祭りを見に行き行って心躍らせ、また退職後にセブ島で知り合った現地ご夫妻を毎年訪ねては一緒にゴルフやビーチで青春？しています。

また自宅周辺には車で30分圏内のゴルフ場が沢山あり、天気の良い日は誘惑に駆られるのですが狭い田舎では平日はさすがにご近所の目が気になります。



楽しい事ばかりのようですが、こちらでは体力勝負の時期があります。

北陸の冬は雪との戦いが避けて通れません。自宅前の道路には地下水を利用した融雪装置が設置されているのですが、昨年の冬は大雪で毎日の降雪に追いつかず毎朝30分以上の雪掻きをさせられました。春のゴルフのための体力作りと自分に言い聞かせつつも、高齢者の青春と体力的な衰えは別だと思い知らされました。

この高岡も4年前に北陸新幹線が開通して東京から約2時間半となり、今年4月には和食先輩を始めとする10名の法友会の皆さん(奥様も含めれば11名)が遊びに来てくれました。久しぶりに懐かしい皆さんの顔を見ると大学時代に会計士講座で一緒に勉強していた頃が思い出され、この北陸の地で再会し酒を酌み交わし、一緒に夜の街に響かせた大学校歌や応援歌は忘れられない思い出となりました。

最後にぜひ法友会の皆様もおいで下さい、加賀藩の台所と称された城下町高岡には情緒ある街並みもたくさん残されています。皆様の北陸新幹線での美味しい酒と魚の旅を願って田舎からの寄稿を終わります。



ゴルフ大会

石川正敏(昭和58年卒)

法友会北陸ゴルフツアーのご報告

今会報の雑感に寄稿して頂いた藤田先輩を訪ねて、4/6~4/8に金沢・富山(高岡、氷見)の観光&ゴルフツアーに行ってきました。

東京からは、小生も含め11名(和食先輩、飯塚ご夫妻、高村先輩、木下先輩、小野先輩、佐藤先輩、菟澤先輩、大谷さん、伊藤さん、小生)が参加しました(一部の方は業務の都合があり、4/7までの日程)。

4/6は金沢の近江町市場、そして金箔製作を見学、兼六園を散策した後、富山に移動し、割烹料理屋で豪勢に会食、スナックで2次会と大いに盛り上がりました。

4/7は高岡カントリー倶楽部にてコンペ、そして夜は、これまた一見さんでは行けないような老舗の特別室にて会食、大いに満足しました。地方で成功している公認会計士は、地方の名士の仲間入りが出来て、在京の会計士よりも数倍、顔が利くね、などと感心することしきりでした。

4/8は氷見カントリークラブにてコンペを実施しました。到着するなり特別来賓用のロッカールームに通され、びっくり、藤田先輩の顔の広さに一同恐れ入りました。

本当に、東京では味わえない特別感一杯の北陸ツアーでした。藤田先輩、大感謝!

また、次回の北陸ツアーを企画したいと思います。よろしくお願いします。



H310407 法友会ゴルフコンペ・高岡カントリー

公認会計士 大学対抗ゴルフコンペ「十月会」のお知らせ

令和元年10月13日(日)、茨城ゴルフ倶楽部(茨城県つくばみらい市)にて第32回目となる十月会が開催されます。

新ペリア方式による各大学上位4名の成績合計による対抗戦です。運にも大きく左右される新ペリア方式で、各大学の平均ではなく上位4名ですから、当然、参加人数が多いほど有利です。我が法政大学は、大勢の方に参加頂き、度々上位の成績を獲得しています。

大会ルールとして、前2回の優勝校は権利落ち(1位となっても準優勝に格下げ)と決められており、早稲田大学と中央大学が今年はその対象校です。最有力校の早稲田大学の権利がない今年は大きなチャンスです。

皆様お誘い合わせの上、奮ってのご参加をお待ちしております。

連絡先は十月会法政世話人の石川(ishikawa@aiwa-tax.or.jp)宛、7月末までお願いします。

「法政士業の会」便り

山田 努(昭和59年卒)

平成から令和に元号が変わり、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

前号(2019年1月)には神宮6年ぶり優勝記事を掲載することができましたが、今春は開幕直前に監督が謹慎処分を受けるなどの影響もあり連覇はならず5位に低迷という結果に終わりました。各校の戦力は拮抗しており、秋には巻き返しを図って法政関係者に活気を与えてくれることを期待しています。野球部部長も務められている神谷先生のご厚意により秋のリーグ戦/パスポートの頒布(特別内野席10,000円、内野席3,000円)の案内をいただけることになりました。ご興味のある方は是非神宮に足をお運びいただければと思っております。

さて、本題の法政士業の会便りですが、今号では士業の会の知名度アップへの取り組み・現状をご紹介します。

法政士業の会が2016年11月に設立されてから2年半が経ちました。その後、校友会では職域ブロックの中の小ブロックとして「士業の会」ブロックが新設され、校友会行事の中で校友向けの「お困りごと相談会」に士業の会が共催として協力を要請されるなど、校友会の中での士業の会の知名度や

影響力が上がってきていることを実感しています。

2018年から付属校における専門士業紹介の講演会を実施しています。公認会計士法友会は2018年に1時間授業を3回担当しましたが、2019年は講演時間枠の拡大を要請し、2時間授業を2回担当することができました。2019年は弁護士と公認会計士が講演しましたが、他の士業も含めて将来のキャリアプランの1つとして専門資格取得の道を示すことの有用性は付属校の先生方にも理解されており、今後も学生・生徒への専門士業の知名度を上げていく活動を継続していきたいと思っています。

法政大学は、大学・卒業生(校友会)・保護者(後援会)の三位一体の協力体制の成功事例としてマスメディアでも紹介されています。卒業生団体の連携も記事になることがあり、サンデー毎日2017.11.19号には士業の会の広報担当をされている吉田先生(行政書士オレンジ会・会長)のコメントが顔写真入りで掲載されました。今後も法政士業の会の知名度を高め、大学・社会に貢献するとともに各士業団体の発展に寄与することを願っています。

・伊藤章子(平成14年卒)

2019年1月25日、山田努先輩とともに、法政高校にて、法政大学経済学部・経営学内定者向けに、公認会計士のガイダンスを実施しました。まず山田先輩に、「公認会計士の職業紹介、やさしい会計の話」を講義いただき、その後、私から、「大学時代の過ごし方」、「監査法人での監査の仕事」、「税理士法人での税務の仕事」、「独立開業後の会計・税務コンサルティング、社外役員の仕事」についてお話をしました。参加者は約20名で、法政高校は元男子校のため、男性が多いと想定していましたが、約半数が女性で、同じ女性として、とても嬉しく思いました。皆さん、一生懸命に私たちの話に耳を傾けてくれて、感想文には、「公認会計士の仕事が身近になった」、「自分も大学に入ったら公認会計士を目指そうと思う」というコメントが並んでいました。この活動を通じて、母校から一人でも多くの公認会計士が誕生することを願っています。

・川瀬博之(平成25年卒)

法政大学国際高等学校の経営学部、経済学部に進学する3年生に対して、公認会計士の魅力について2時間講義をさせていただきました。

まず、公認会計士とはどのような仕事なのか、1時間説明していただき、2時間目は実際にどのような実務を行っているのか、興味をもってもらえるよう身近なものを例に出し、真面目な話だけでなく、面白おかしい話も交えながらテンポ良く話をさせていただきました。

また、私は税理士としても独立をしているため、税理士としての仕事やコンサルティングの話もさせていただきました。実務の話や収入等については、前のめりになりながら聞いてくれる生徒も多く、有意義な講義ができたと思っています。

このような活動により、少しでも公認会計士という仕事に興味をもってもらい、目指してくれる人が増えればよいなと思いました。

・内山圭太(平成22年卒)

数年前より法政二高OBとしてお声掛けをいただき、経営学部進学予定の生徒の皆さんに会計の基礎を学んで頂くことを趣旨として、B/SやP/Lを活かした企業分析の方法などについて講義を行わせて頂いています。

本年度も1月にお邪魔させて頂き講義を行いました。共学となって以降、初めて3年生で女子生徒の方がいらっしまったこともあり、男子校時代を経験している私にとっては非常に新鮮に感じられました。

会計に触れるのは初めて、という生徒さんが大半の中で内容を理解してもらえるか、という点について講義前は不安に思っていたのですが、講義が始まると皆さん真摯な姿勢で取り組み、こちらの質問にも積極的に回答頂くことができただけでなく、時折切れ味鋭い質問が飛んできてこちらの方が驚かされる場面もありました。

講義の中では公認会計士と言う資格や業務内容の説明も行いましたが、興味を持たれている方も多くいたようなので、将来的に公認会計士となってくれる方が1人でも多くいらっしやればOBとして嬉しい限りです。今後も引き続き、付属校に対する活動には積極的に取り組んでいきたいと思っています。



会費納入等の御礼

事務局

平成30年度に定期総会・合格祝賀会に参加いただいた方、会費を納めていただいた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

(50音順、敬称略)

相原 光輔	奥 朋	桐生 大輔	末永 貴志	永井 恵太	古川 直磨
赤岩 茂	小倉 加奈子	神田 忠二郎	杉本 喜代美	中田 昭弘	發知 敏雄
渥美 龍彦	越智 一成	古田土 満	鈴木 和郎	永田 郷	前田 大輔
新井 良明	小野 隆良	小場 貴之	鈴木 一宏	中村 元紀	牧野 智成
有泉 正樹	尾町 雅文	小林 保弘	鈴木 雄飛	中村 里佳	町田 和輝
飯塚 昇	柿沼 幸二	小比類巻 佳朗	相馬 大槻	中山 理恵子	三浦 翼
五十嵐 正明	葛西 晋哉	小堀 良典	高木 淳	西浦 正和	三浦 太
石川 正敏	金子 祐大	近藤 大輔	高橋 和司	西澤 利雄	森口 輝来
石出 康子	河合 三彦	齊藤 賢一	高村 茂	韭澤 政男	安井 洸治
市川 隼	川口 宗夫	齋藤 雅人	武田 知紀	野村 浩子	矢田堀 浩明
伊藤 章子	河西 正之	齋藤 陽太	竹中 薫	橋爪 和夫	矢部 豊
井上 倫哉	川村 敬史	酒井 宏暢	竹村 謙一	橋爪 宏徳	山口 祐一郎
宇佐見 浩一	岸野 勝	酒井 雄介	橋 隆造	花木 大悟	山田 努
鶴藤 葉子	北村 敏雄	佐竹 健二	館内 宏宣	花房 知子	山本 成男
海老澤 弘毅	木下 恵嗣	佐藤 直	堤 研一	春山 直輝	山本 義昌
太田 荘一	君和田 和子	椎名 清史	遠山 景一	藤田 利弘	吉川 清司
大野 厚夫	木村 純一	篠原 可奈	富樫 健一	藤原 明	吉田 実貴人
大谷 はるみ	木村 庄吾	志村 誠	豊島 忠夫	二口 嘉保	和食 克雄

平成30年度公認会計士試験合格祝賀会・研修会を開催

事務局

2019年1月26日(土)、市ヶ谷キャンパスの外濠校舎6階 薩埵ホールにて「平成30年度公認会計士試験合格祝賀会」を開催しました。

田中優子総長をはじめ、日本公認会計士協会の武内清信副会長、大学常務理事、後援会、校友会、同窓会及び士業の会の役員、学部長、担当教授などの大学関係者、公認会計士のOB・OG、約120名が出席し、盛大な会となりました。



太田荘一 会長

厳しい状況の中でよくぞ合格してくれました。

法友会は法政大学出身の公認会計士800人近い会員で構成され、皆さんが就職する大手監査法人にはかならず法政大学の先輩方がいっぱいいます。パートナーから若手までいっぱいいます。皆さんが職場に入っても声をかけてもらえると思いますので、ぜひ活躍してもらいたいと思います。

本日は門出の日ですので、お世話になった方々に感謝の気持ちを忘れずにいてほしい。また、田中総長をはじめ、いろいろな方々から激励の言葉をいただくので、それを忘れずに胸に刻んでいただき、社会で活躍してほしい。



田中優子 総長

公認会計士の方々、私の身近にもおりまして、さまざまな仕事、大事な役割を担っていますし、社会一般で活躍されています。一番大事なのは不正を正すということです。経済社会の番人であり、法曹界の方と並び、社会にとってとても大事な役割を担っています。私の考え及ばないような多種多様な仕事があります。言い換えればどんなことにも挑戦できるということです。

学び続ければ、皆様の前には新しい仕事が広がると思います。社会の不正を正しながら、経済社会を健全にしていくにはどうするか、ということを考え続けながら、学びを続けて欲しいと思います。よい仕事をしていくと、法政出身者は、こんなにすばらしい仕事をするんだと周りの皆さんが思ってくれます。後輩たちにとっても大きな刺激になりますので、皆さんに期待しています。皆さん一人一人がどんな生き方をしていくのか楽しみです。充実した人生を歩んで欲しいと思います。本日は出発点です。



日本公認会計士協会 武内清信副会長

IOT、AIの進展に見られるように、どんどん時代が変わり、新しい技術が入ってきています。そんな中で、これからはもっともっとすごいスピードで、そういう環境の中で仕事が行われていくことになると思います。

このような状況のもと、皆さんは諸先輩方の話も大事ではあるが、これからは自分たちはどういう環境中で業務を行っていくのかということを考えて、業務を行っていただきたいと思います。

ただ、私から一言だけ言わせていただけるとするならば、いかに技術が進もうとも、企業は生き物であり、人と人、企業経営者との間ではコミュニケーション、これだけは、どんな時代であっても大切だと思っています。自分が何を話すかということもありますが、皆様はAuditor、Audienceでありますから、まずは人の話をよく聞いて、理解をして、そして、そのうえで、例えば企業のなかで働くならば、作成者になるでしょうし、コンサルタントということで、やっていく人もいます。そして独占業務である監査・保証業務を行う人もいます。会計士としての気構えをもって、アドバイスをし、最後はきっちりと説得して、公正な財務諸表を世の中に出していく責務があると思います。この辺りを心に刻んで活躍をしていただきたいと思います。



各種参加報告

オール法政新年を祝う会

宇佐見 浩一(平成2年卒)

2019年1月27日、グランドニッコー東京台場にて「オール法政新年を祝う会」が開催され、合計1,000名を超える法政OBが集まり、当会から太田会長以下10名で参加しました。

OBの現役アナウンサーによる司会のもと、「尾木ママ」こと尾木直樹特任教授の特別公演、田中総長及び菅義偉内閣官房長官を始めとする方々のご祝辞がありました。

また、選手・監督から各種スポーツの結果報告があり、特に6年ぶりの優勝を飾った野球部、箱根駅伝で3年連続のシード権を得た陸上部、42年ぶりの優勝を飾ったサッカー部の報告に対しては、会場からより大きな拍手がありました。

そして最後は、全員で校歌斉唱。1,000人での校歌は卒業式以来であり圧巻でした。

今まで私自身、母校との接点は多くなかったのですが、今回の参加により改めて法政大学のスケールの大きさ及び絆の強さを実感しました。



公認会計士三田会から新人歓迎会&懇親会

石川正敏(昭和58年卒)

2019年3月26日、慶応大学の公認会計士三田会の総会後懇親会に、飯塚先輩と小生とで参加してきました。会場はいつもの、銀座交詢社ビルです。いつ来ても、羨ましい限りの歴史ある社交場です。法政も、何時かはこのようなOBの懇親の場が持てるといいな…と思いつつも、つい貧乏人根性で、どれだけ金が掛かるんだろうとも思案しながら、福沢諭吉公の肖像画も拝見して、参加しました。

今回、三田会会長が池上玄氏より小見山満氏(日本公認会計士協会 前副会長)に交代になりました。慶応大学の会計士試験合格者も多数参加しているなかで、小見山新会長からの挨拶で、44年間、公認会計士合格者輩出、日本一であること、

そして慶応高校の3年生から会計士合格者が出たことの話がありました。高3で合格って、羨ましくもあり、大人になっていないような年齢の人が合格してしまうのは、たいへんなのではないかと心配でもあります。

さて、三田会HPにある小見山新会長の挨拶文に、慶応大学から何故に合格者が多いのかという理由の記載があり、「合格者から先輩の姿を見て可能性にみちいていそうだから」という記載がありました。法政大学も我々先輩が、後輩に対し大きな可能性を見せていくことが、やっぱり合格者を増やす近道だと思う次第です。

東京六大学野球リーグ戦観戦

飯塚 昇(昭和49年卒)

平成31年4月27日、経営学部同窓会からお誘いを受けて、法政vs慶応の試合観戦に神宮球場に行ってきました。

私のほか、柿沼浩二(S57年卒)会員、大谷はるみ(S60年卒)会員、春山直輝(S62年卒)会員も参加しました。また、私の奥さんも法政経営学部卒で、さらに観戦希望の娘夫婦も加わり、法友会から総勢7名が参加、法政の勝利を信じて応援しました。

試合開始の際には、野球部の部長である経営学部教授・神谷健司先生も選手と一緒に整列、『神谷先生～！』と手を振ったら、法友会メンバーに気が付かれた様子でした。

観戦メンバーが学生の頃は、作新学院から江川 卓投手が入学、五明公男監督の下でいつも(?)優勝争いをして、4期連続の完全優勝の時代だったと思います。ちょうちん行列という趣向の優勝パレード、本校に戻れば缶ビールが配られ、大いに盛り上がったものでした。

さて、試合は逆転負け、次の秋季大会も学生時代に戻って応援、球場でも居酒屋の打ち上げでも、勝利の法政大学校歌を歌いたいと思っています。



公認会計士法友会事務局

〒169-0074

東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ301

E-mail: hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を
目指して活動しています。

6月末現在の会員数 740名

ホームページもご覧下さい。

<http://hoyukai.la.coocan.jp/>

IDはhoyukai

パスワードはrokudaigaku103

(平成31年1月26日より)



編集後記

JICPA東京会のイベントで「握り寿司体験」(寿司アカデミー)に参加してきました。アジの三枚おろしから始まりましたので、魚を捌いたことのない人間に果たしてできるのか?と思いましたが、何とか形になりました。

その後、ネタ用に切り分けました。サーモンはさくの状態で、そこから切り分けるのですが、脂がのっけていて滑ってしまい、うまくできません。

そして、しゃりを握る段階になるわけですが、形にはなりませんが、ぱらっとはな

りません。まあ、そんなに簡単ではないということですね。

それでも、盛り付けると、それなりの見栄えにはなりました。一緒に組に自分より先輩の方がいらっしゃったのですが、奥さんを持って帰るとのことでした。他に、夫婦、カップル、親子といろいろな方が参加していました。



※今後のイベント予定(ご予約ください)

2020年1月25日(土) 公認会計士試験合格祝賀会

2020年1月26日(日) オール法政新年を祝う会

平成31年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日) 年度会費及び寄付金のご協力のお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、他校の会計士団体への参加費、慶弔費などの支出が必要で、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただけの方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で、定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費、会報や住所録の作成費用が増大しています。皆様の、ご理解とご協力を強くお願いする次第です。

また、平成28年度から「公認会計士試験挑戦者に対する奨学支援金制度」(以下、奨学支援金)がスタートしており、この支援金は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われております。

毎年、寄付金等をお支払いいただく際に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまで会員の皆様のご厚意にお願いするものであります。

年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・校友会寄付金・奨学支援金・その他寄付金などの寄付金として寄付金5,000円(一口)を加えて合計10,000円を納入いただければ助かります。

もし、ご理解をいただけるのであれば、年度会費の5,000円と寄付金の10,000円(二口)、合計15,000円を納入いただけますと大変助かります。

振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座にお願いいたします。

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 東中野支店(店番152)

普通預金・口座番号 1559256 口座名・公認会計士法友会

<連絡先> 〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ

公認会計士法友会事務局

080-8886-0375 / hosei.hoyukai@gmail.com

Books!

書籍の出版情報を事務局までお寄せください。会報に掲載いたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。以下の執筆情報をいただきましたので、掲載いたします。



成功へのストーリーが見える、伝わる! 事業計画書のつくり方

株式会社三笠書房 著者: 三浦 太(昭和60年卒)



A3一枚でつくる事業計画の教科書

株式会社あさ出版 著者: 三浦 太(昭和60年卒)

※現在、書籍を開架しておく場所が無いので、書籍の受入は中止させていただいております。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思いますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。